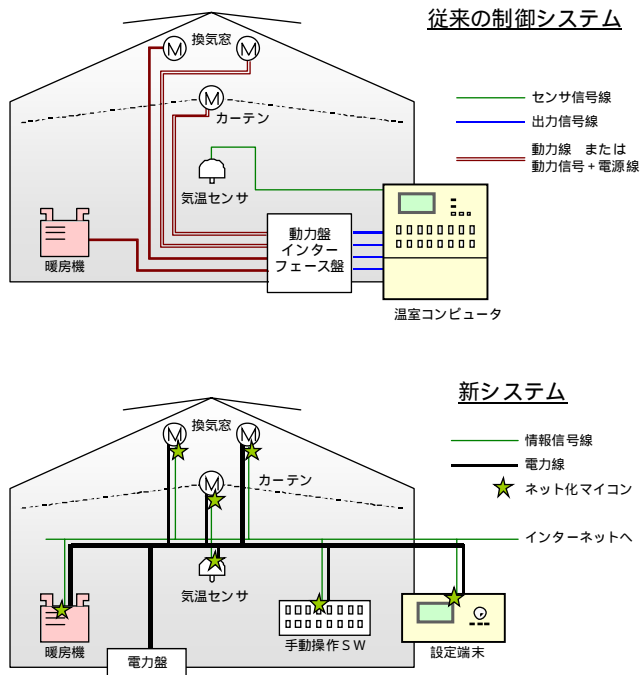


温室環境制御システムの低コスト・ユビキタス化

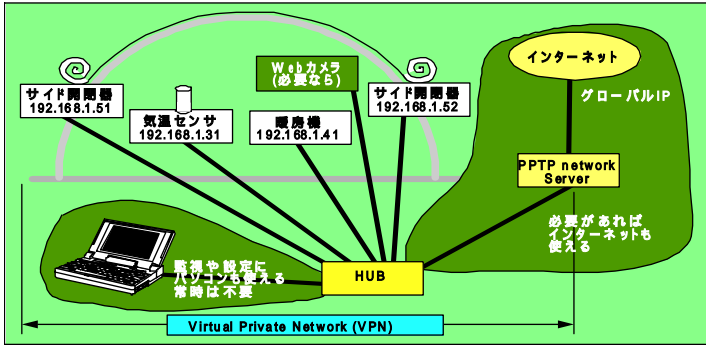


わが国における施設園芸生産を発展させるには、国際競争力を高め、高付加価値な野菜等を生産することが必要です。これを実現するためには、低コスト化、生産技術の高度化を進めることが急務です。

ネットワーク技術などのITを活用することによって、全く新しい自律分散型のユビキタス環境制御システムの基盤技術を開発しました。

従来の温室環境制御用コンピュータと比較すると、半分以上のコストで高性能な環境制御システムを導入でき、しかも、インターネットを通じて食品トレーサビリティシステムなどの生産履歴情報交換なども可能になります。

2006年度の販売を目指し、企業および国と共同して製品化を実施中です。

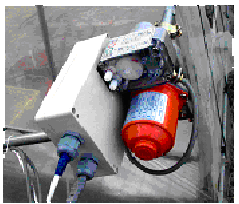
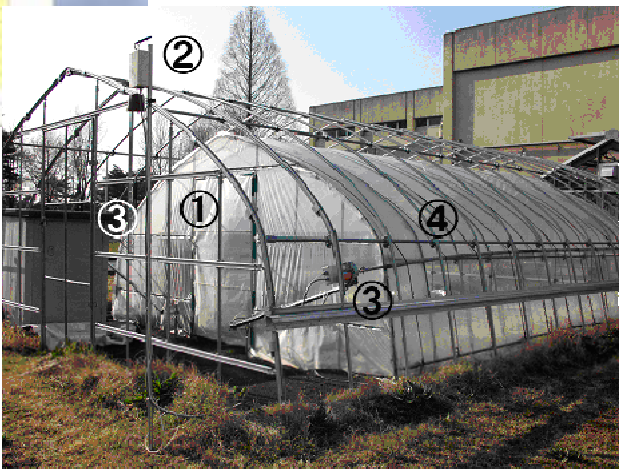


これまでの集中型制御方式ではなく、安価なネット化マイコンを内蔵した機器(ノード)を温室に設置し、ネットワークで結合します。

ネットワークを通じてインターネットにも接続でき、Webブラウザで各機器の遠隔操作が可能です。

故障した場合は、故障機器を交換するだけで簡単に修理できます。

各機器はお互いに存在を確認し合いますから、植物工場から簡易温室まで、さまざまな機器構成に柔軟な対応が可能です。



関連URL: <http://www.fb.u-tokai.ac.jp/home-j.html>
 問合せ先: hoshi@fb.u-tokai.ac.jp